



新ひだかの夏

新ひだか町誕生5周年記念

わがまちのまつり



伝統、熱気、支える人たちの思い—

夏を華やかに彩る「わがまちのまつり」にはたくさんの魅力があります

昨年は宮崎県の口蹄疫発生拡大を受け中止となってしまう

「みついし蓬莱山まつり」

「新ひだか夏まつり」

今年、新ひだか町誕生5周年記念事業として開催される

「みついし蓬莱山まつり」

「新ひだか夏まつり」

活気あふれる様々なイベントを行います

今年の夏は「わがまちのまつり」に参加し、まちの魅力を再発見しませんか



みつごし蓬萊山まつり

神秘の山

「蓬萊山」に

架かる

日本一のしめ縄

今年で第17回を迎えるみつごし蓬萊山まつりは、神々しく勇壮にそびえ立つ標高60メートルの蓬萊山のふもとで行われます。

三石川をはさんで両側にある奇岩怪石の山をそれぞれ蓬萊山と雌蓬萊山と呼びます。山の頂上にはシヤクナゲやムラサキツツジなどの高山植物が生息し、なんとも神秘的な風情が漂います。

そして、この神秘的な蓬萊山にはアイヌの言い伝えによる数々の伝説があります。

蓬萊山の伝説 くくじら伝説

暖かい春の日、二人のアイヌの兄弟が道を歩いていました。すると突然兄弟が「怪物だ怪物だ」と叫び、兄は、疑いつつも弟の指さす方を見ると、川下から大きなくじらが上ってきました。二人は驚いて集落へ戻りこれを告げると、アイヌたちは怪物退治に勢いづきました。そんなこととは知らない怪物は川をぐんぐん上

り、途中疲れて寝込んでしまいました。この寝姿を見たアイヌたちは、この時ばかりとオプ（やり）を投げ、アイ（矢）を放ち、シュト（こん棒）でたたき攻撃しました。さすがの怪物も海とは違い自由がきかず、巨大な体を川の中に横たえました。大喜びのアイヌたちは早速その夜、怪物を料理し、盛大な祝いの酒宴を開き、濁酒に酔い、我を忘れて踊り狂いました。

この時、火にかけられてあつた肉塊がすぎの大串と一緒に黒くこげ、ものすごい音を立て折れてしまいました。その二つの肉塊が川の左右に分かれ、左岸に突っ立った大きな山が蓬萊山で、小さく右岸に突っ立ったのが雌蓬萊山です。

まつりのシンボル 日本一のしめ縄

二つに別れてしまった蓬萊山と雌蓬萊山を年に一度結ぶのが、まつりのシンボルとなった日本一のしめ縄です。長さ130メートル、最大直径3.4メートル、重さ2.8トンという巨大しめ縄は、クレーン車などを使い、10人がかりで約一週間かけて架けられます。

このしめ縄設置作業の現場監督を平成6年の第1回蓬萊山まつりの時から務めている坂本さんにお話しを伺いました。



みんなの笑顔にこたえて

酒井建設株式会社主任技師・坂本伸一さん

平成6年の第1回蓬萊山まつりの4、5年前までは、夏まつりで蓬萊山にしめ縄を巻いていたのですが、当時の建設協会の富岡会長が「蓬萊山と雌蓬萊山を年に1回結んであげたらどうか」と言ったのがきっかけで、蓬萊山と雌蓬萊山にしめ縄を架けるようになりました。しかし、三石川を挟んでしめ縄を架けるのはとても危険なので、なかなか許可がされませんでした。

しめ縄を設置するにあたり、まず苦勞するのは縄の修理です。しめ縄は合成繊維できている5メートルの袋に発泡スチロールを入れて、つなぎ合わせて作っています。1年間そとで保管しているため、どうしてもいたんでしまい、約10年で全て取り替えます。以前、点検のためにしめ縄の上を歩いたら、膝までうまってしまったこともあります。修理は手作業で縫い合わせたり、テープで穴



をふさいだりします。作業はまず、しめ縄を台車の上に乗せて川に仮設した橋まで運び、しめ縄の中心に入っているワイヤーの先端を雌蓬萊山に引つ掛けた後、蓬萊山にも引つ掛け、下から滑車を回して引き上げます。しめ縄が架かった時はとても気分がいいですが、まつりが無事終わるまでは雨や風などが心配です。設置作業はとても危険ですが「しめ縄がないとまつりが盛り上がりがない」という地域の方の声や道内外から来る観光客の期待、見た人の喜ぶ笑顔にこたえて、これからも設置作業にたずさわっていきたいです。橋の上から見るしめ縄は格別です。皆さん、ぜひ見に来てください。

新ひだか夏まつり

熱気と感動 会場が一つに 伝統の郷土芸能 阿波踊り

夏まつり（静内地区）の顔となった阿波踊り。パレードには毎年約1万5千人もの人が訪れ、老いも若きも、踊り手も観客も会場が一つとなり、夏の夜を楽しみます。

新ひだか町と阿波踊り

静内地区で阿波踊りが踊られるようになったのは、今から25年前、昭和61年に開催された第10回夏まつりからです。

町の開拓と深く関わりのある兵庫県洲本市と昭和61年5月、姉妹都市提携を調印したことを記念し、その年の夏まつりから将来は町の顔となる催し物にしようと阿波踊りパレードが始まりました。

当時の阿波踊りパレードはカセットテープの音楽で踊っていました。が、どうも盛り上がり欠けるといふことから、夏まつり実行委員会の呼びかけで、昭和63年、5名の愛好者が仁木町へ太鼓やかね、横笛などの鳴り物の研修に行きました。

そして、その人たちが中心となって平成2年6月、26名の会員で「静内町阿波踊り愛好会」が結成されたのがきっかけで、阿波踊りが盛んになりました。

また平成2年9月には兵庫県西淡町（現・南あわじ市）、徳島県脇町（現・美馬市）と姉妹都市提携を調印したこともあり、平成5年から15年の10年間にわたり、本場徳島県脇町のとんび連・真鍋連長を講師に招き、指導を受けていました。

現在は、徳島県阿波踊り協会から所属連と認める認定を受けた六つの連（静内阿波踊り愛好会、ちゃま姫連、桜舞連、さくら連、一風連、天馬連）115名が「しずない阿波踊り協会」として、新ひだか町内はもとより、北海道内の中心的存在として活動をしています。

夏まつりでは、六つの連以外にも陸上自衛隊静内駐屯地や商工会青年部・女性部、町外の連もパレードに参加し、約500人の踊り手と鳴り物が「ヤットサーヤットサー」の掛け声とともに夏まつりの夜を熱く盛り上げます。

幼い頃から阿波踊りを始め、現在も阿波踊りの楽しさにひかれていて、天馬連所属で今年のさくら大使を務める小野さんにお話を伺いました。



乱舞で一緒に感動を

町立静内中学校事務生・小野麻友さん

私が阿波踊りを始めたのは小学4年生の時です。父の知り合いが阿波踊りをしていて影響もあり、自分から「踊りたい」と思い、父と一緒に始めました。

小学5年生の時、町内の各連の代表者が徳島県に行き、本場の阿波踊りを見る機会があり、私も参加しました。幼いながらも本場の阿波踊りにとても感動したことを覚えています。その時に徳島県の人と一緒に踊ったことも印象に残っています。

だんだん成長すると踊るのが恥ずかしくなるのか、私と同年代の踊り手が少なく残念です。

夏まつり前の時期は、週に3回練習があり大変ですが、夏になると阿波踊りを踊りたくなるので、これからも続けていきたいと思っています。

浴衣を着て上品に踊る女踊りも魅力的ですが、私は半天を着てうちわを持ち、ダイナミックに踊る男踊り



が好きで、幼い頃から男踊りを踊っています。夏から秋にかけて岩見沢市の百餅まつりなど全道各地のお祭りで踊りますが、地域によって踊り方が全然違って勉強になります。個人的には地元の阿波踊りが好きです。阿波踊りでは、平成20年に新ひだか町で行われた全道大会で、公民館や体育館、御幸通りなどたくさんの会場で踊り、たくさんの連の踊りを見たことが、一番の思い出です。夏まつりの阿波踊りパレード最後の「乱舞」で、会場にいる人全員が一つになって踊るのが楽しいです。みなさんもぜひ一緒に踊ってください。



平成23年度 自治会長会議

平成23年度の「自治会長会議」を静内・三石両地区で開催しました。静内地区は5月27日(金)に役場静内庁舎で、三石地区は5月31日(火)に延出基幹集落センターで行い、出席された自治会長から熱心な質問や貴重な意見・提言がなされました。今回寄せられたご意見などは、今後のまちづくりに生かしてまいります。

退任された自治会長の皆さん 長年にわたり、ありがとうございました。

この度、自治会長を退任された方々に感謝状を贈呈いたしました。

本町アカシア自治会	朝日剛様 (在任期間：18年1か月)
中野第2自治会	佐藤隆司様 (在任期間：16年)
神森自治会	石垣勝英様 (在任期間：8年1か月)
豊畑新興自治会	帰山薫様 (在任期間：7年3か月)
和光自治会	佐藤信行様 (在任期間：6年9か月)
新生自治会	東晃様 (在任期間：6年)
青柳町第2自治会	上島茂雄様 (在任期間：5年)
本町6自治会	廣瀬静夫様 (在任期間：9年3か月)
豊岡連合自治会	江本嘉昭様 (在任期間：12年)
梟舞1自治会	安田新悦様 (在任期間：14年)
稲見3自治会	山本昇壽様 (在任期間：7年)

主な質問・意見・要望

- Q 昨年夏頃まで、子どもの帰宅時間を知らせる音楽が鳴っていたが、最近は聞こえない。6時を過ぎても遊んでいる子どもがいるので、音楽を流したほうが良いのではないかな。
- A 「帰れコール」はライオンズクラブから寄贈してもらったものですが、老朽化で修理ができない状況です。今後、防災無線を利用するなど内部で協議をしていきます。
- Q 防災無線のスピーカーから流れる音声聞き取りにくいので調整してほしい。
- A 必ず聞こえるように51基設置していますが、気候等により届きすぎてハウリングを起こす場合があります。間引きして放送していることがあります。今後、デジタル化に移行する予定があるので、当面は現状のままをお願いしたいと思います。
- Q 津波発生時の各地域の避難所について、海拔何メートルあるのか、わかるようにしてほしい。
- A 全町的な海拔表示について、皆さんがわかるような形にするため、建設課・総務課（防災担当）と協議を進めています。

第5回新ひだか夏まつり

星空ビアガーデン 8/6 (土)
時間 16:00~20:00
場所 町公民館横広場

七夕宵祭り 8/7 (日)
時間 13:00~20:00
場所 観光情報センター ほか

静内川花火大会 8/13 (土)
場所 静内川右岸緑地公園
■シベチャリビアガーデン
時間 16:00~20:30
■盆踊り大会
時間 18:00~19:00
■静内川花火大会
時間 19:30~20:30

三石漁港花火大会 8/15 (月)
場所 三石漁港
■ビアガーデン、盆踊り大会、抽選会 ほか
時間 16:00~21:15
■アコースティックライブ
時間 19:00~19:30
出演 向井成一郎
■花火大会
時間 20:00~20:30

前夜祭 7/22 (金)
■歩行者天国
時間 16:00~21:00
場所 静宝通り、みゆき通り
■阿波踊りパレード
時間 19:00~20:30
場所 静宝通り、みゆき通り

7/23 (土)
■歩行者天国
時間 10:00~21:00
場所 みゆき通り
■和太鼓フェスティバル
時間 12:30~15:00
場所 みゆき通り
■歌謡ショー
時間 15:30~17:00
場所 古川公園野外ステージ
出演 加藤高道(狩人) 谷本知美(サポート大使) 中森あきない(ものまね)

■歩行者天国
時間 16:00~21:00
場所 静宝通り
■阿波踊りパレード
時間 18:30~20:30
場所 静宝通り、みゆき通り

新ひだか町三大まつりスタンプラリー実施中!

「蓬莱山まつり」「新ひだか夏まつり」は「新ひだか町三大まつりスタンプラリー」対象イベントです。町の三大まつりを満喫して、ステキなプレゼントをもらおう! 応募カードは、各まつり会場ほか、役場両庁舎や観光情報センターほっぽ、みついふれあいプラザなどで配布しています。

新ひだか大漁まつり2017 地引網漁の体験 ほか
7月16日(土) 三石漁港公園にて開催

お祭りで昆布マンに会える!!



今話題の昆布マンにインタビュー

- 誕生日は?
「平成2年の夏、もうすぐ21歳だよ」
- 出身は?
「僕は三石の海から生まれたんだ」
- 普段は何をしているの?
「町の良いところを探しているよ」
- 好きな食べ物?
「日高のさくらウニ (いつもは食べられているけど、涙。)」
- 町の皆さんに一言!
「今年は僕と一緒に夏のイベントを楽しもう! まずは蓬莱山まつりで会おうよ。静内駅(ほっぽ)で僕の携帯ストラップ販売中だからよろしくね!」



昆布マン

旧三石町商工会青年部により生み出された地域キャラクター。自慢は昆布のmant。現在、インターネットで話題沸騰中! ぜひ検索してみてください!!

主なイベント

第17回みついし蓬莱山まつり

場所 蓬莱山公園 7/3 (日)

- 安全祈願祭
時間 10:00~
- アロハフラ マハナ・ホア
時間 10:35~10:55
- 染退太鼓
時間 11:05~11:25
- もちまき大会
時間 11:30~11:40
- 陸上自衛隊第七師団音楽隊
時間 11:50~12:20
- 歌謡ショー
時間 12:35~13:45
出演 小金沢昇司 歌真呂
- よさこいソーラン踊り
時間 13:45~14:35
出演 三石なるこ会 ほか
- ほうらいジャンボくじ
時間 14:35~15:00
- 三石和牛コーナー
- ビアガーデン
- 縁日飲食コーナー
- 特産品販売コーナー
時間 9:30~15:30
- 子ども乗馬
時間 10:00~14:00